



代表取締役

タ

カダグループの先頭に立ち、会社を牽引する高田実社長。新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の下、どのような経営をしていくのでしょうか。今後の展望に迫ります。

——新型コロナウイルスの感染拡大、それにとまなう緊急事態宣言を受け、会社として大きな変化はありましたか。

緊急事態宣言や外出自粛により、特にホテル事業は大きな打撃を受けています。私自身、日々の対応に当てる中で、「これはまずいな」と思った瞬間もありました。そこで決断したの

が、4軒のホテルを閉めることでした。この決断にはかなりの勇気を要しましたが、会社を守るためには必要な選択でした。

また、資金的な危機を感じた時期もありました。約12億円の運転資金があることを理由に、銀行が融資を渋りはじめたのです。しかし、運転資金は運転資金として維持していくべきものであり、これを使ってしまうのは健全な会社経営とは言えません。資金が尽きたタイミングで融資を願いつても、受け入れてくれる銀行はどこにもないでしょう。銀行担当者にそうした状況を伝え、度重なる交渉を重ねた結果、6月末までに30億円を超える調達ができる運びとなりました。これは、私たちのこれまでの努力と実績を、銀行が評価してくれた結果です。銀行が「タカダグループを応援しよう」と決めてくれたのです。

——まずは現在の仕事内容について、教えていただけますか。

幅広い業務を担当しております。例えば書類の作成を始めとした対銀行の業務がありますが、タカダグループと取引がある銀行は何行も存在しますから、書類を用意することだけでも容易ではありません。

——黒田さんから見て、高田社長はどのような方だと思われませんか。

社長は、会社そのものの状

経理部
黒田 美由紀

タカダグループの経理部に所属する傍ら、社長のサポート業務もこなす黒田美由紀さん。お仕事の内容や、黒田さんから見た高田社長の姿は、どのような印象なのでしょうか。

態や、行われている業務、あらゆる物事を把握しています。表面的な話ではなく、各業務の深いところまで、とても詳しくご存知なんです。これは、本当にすごいことだと思います。ただでさえお忙しいはずなのに、信じられません。そして、スピード感もずば抜けています。思いついたら、即行動に移す方です。ただ、あの速さについていくことが大変で……。出されるアイデアも半端な量ではありませんから、こちらはいつも大慌てです。前職時代を含め、今まで出会ったどの上司、どの社長よりも、圧倒的なパワーがあると思っています。

私自身、あのスピードに全然ついていけないと自覚しています。今も昔も、求められているパフォーマンスが全く発揮できていないままだと感じていますね。

います。しかし、もう大丈夫です。タカダグループは今回の危機に屈することはありません。世の中が回復したとき、この会社も私自身も、一段と強くなっていることでしょう。

——社員みなさんへのメッセージや、今後の展望についてお聞かせください。

今回の危機は乗り越えられましたが、今後また別の困難に直面する可能性も十分にあります。時々刻々と移り変わる社会の中で生き抜くために、社員一人ひとりが主体性を身につけてほしいと強く考えています。タカダグループは、創業から現在に至るまでずっと私のワンマン企業でした。社長である私を信じてついてきてくれることは大変嬉しいことですが、それぞれの社員が状況を見極め、判断する力を身につけることも必要です。そのように社員が一歩ず

——そのようにお考えだったのですね。でも、これまで会社を辞めることなく、ずっと仕事を続けられたのは、何か理由があったのでしょうか。

やはり、この業務に携わっていると、社長の大変さがよく分かるのです。誰よりもプレッシャーを感じる立場でしょうし、仕事の量も膨大ですから。そんな様子を見ていると、どうしても「サポートしたい」「微力でも、役に立ちたい」と考えてしまうんです。その気持ちですが、私を奮い立たせてくれました。

——今後の目標はありますか。

先ほども申し上げた通り、今の私は求められている結果を出せていません。これから目の前の仕事をひたすらこなし、「会社に必要とされる存在」と自信を持って言えるよう、精進いたします。

つ成長すれば、この会社はさらなる飛躍を遂げるでしょう。大変な状況下ではありますが、なるべく心に余裕を持ち、物事を冷静に判断できる目を養っていきたいものです。

現在、タカダグループは採用に力を入れています。経済が深刻な打撃を受けているこの時期だからこそ、働く場所を失ってさまよっていたり、転職を考えていたりする人材は多いはず。私はそこに目をつけました。今だからこそ確保できる、優秀な人材がきっといます。そうして、この会社の組織基盤をもっと強くしたいと考えています。

逆境にあっても決して諦めず、前進への糸口を見いだす高田社長。これからも、タカダグループをさらなる高みへと導いていくでしょう。

自身の課題に真摯に向き合われる黒田さんについて、高田社長は以下のように評価されています。

「黒田さんは、私が最も信頼する社員の一人です。もちろん、時には注意をしたり、叱責したりする日もありますが、でも、この人は絶対に挫けたり、諦めたりしません。これからは、その強さに期待していますよ」。

絶大な信頼を寄せられている黒田さん。これからもタカダグループの発展に貢献していくことでしょう。

Topics

2020年7月1日に、タカダホールディングスは高田クレーン興業を吸収合併し、「新生」高田クレーン興業として再出発いたします！

V字回復 への道

TAKADA HOLDINGS

コロナショックによって苦しむ世界。乗り越えた先には、どのような未来が待っているのでしょうか。

今回は高田さんに、V字回復に向けて現在取り組んでいることや今後の展望などを伺いました。



株式会社 Rino Hotel マネジメント
ホテルオペレーション部 部長

ただ ともりの
高田 知典 さん

コロナショックが広がってからの影響

2020年を迎えてすぐのこと。武漢がコロナウイルスによって苦しんでいる状況を社長と共に車の中で耳にしました。「大変だな」とあくまで他人事として捉えていたニュース。しかし、その脅威は息をつく間もなく中国を、世界を覆っていきましました。もともと中国からのインバウンドを見込んで営業をかけていましたが、当然のことながら計画は頓挫してしまいました。それからというものの、他の国に営業をかけようとしたが、ヨーロッパ、アメリカと、コロナウイルスの勢いは全く衰えません。ビジネスは素早い対応が重要ですので、すぐに主眼を国内での需要に切り替え、ターゲットをビジネスマンの出張などに注力しました。

しかし魔の手はすぐ背後に迫り、外出自粛や出張規制により、ホテルの需要は落ち込みました。実際に、大阪のミナミエリアにおけるホテルの稼働率は、10%程度しかありません。前年の同時期の稼働率に比べると、約80%落ち込んでいます。ホテル自体の需要や従業員の安全を考えて、Rino Hotelは現在休業しています。

高田社長との連携

コロナウイルスが徐々に広がっていく中、社長と相談し、早い段階で休館を決定しました。その頃は近隣のほとんどのホテルがまだ営業していましたが、営業を続けたところで赤字になるため、今後の状況や従業員の安全面を考慮した結果、休館の決定に至りました。現在ではほとんどのホテルが休業中であり、損失も最低限で抑えられたため、今となっては最善の策であったと思います。

現在は、社長から毎日指示をいただきながら、休業中の社員に対する説明会を開催したり、助成金の申請をしたりといった業務を行っている状況です。

また、需要が回復したときのことを見据え、中国からの旅行者との折衝や6月に開店する予定の中之島Eastの営業準備も進めています。

今後の抱負、決意

今は辛抱の時期です。どの程度の時間を要するのかわかりませんが、必ず回復すると確信しています。ゆえに、今やるべきことはコロナ禍が収束したあとに業界の中で戦っていくための準備であると考えています。現在、Rino Hotelではほとんどの従業員が休業していますが、今後とも皆さんの力は欠かすことはできません。給与は100%保障しており、時間はあると思うので、是非この機会に自己成長に繋げてほしいと考えています。

また、ホテルという事業はグループの中で影響が大きいことを改めて認識しました。タカダグループに大きな迷惑をかけてしまっている責任を感じていますが、ここで出してしまった損失を、近い将来補填できるよう、今は辛抱強く目の前のやるべきことを進めてまいります。皆さん、力を合わせてこの苦境を乗り越え、新たな未来を共に切り拓いていきましょう！

家族への「ありがとう」

日頃はなかなか言葉にできない「ありがとう」の気持ち。今回は、社内報を通してご家族への感謝を伝えてもらうべく、3名の方にお話を伺いました。

まつい たかし
高田クレーン興業 **松井 貴司** さん

妻と4歳になる子どもへ

朝は早くから仕事に出してしまうのに、毎日欠かさず見送ってくれてありがとう。子どもの寝顔を



見たときは、仕事の疲れも吹き飛ばすほど幸せな気持ちにしてくれます。平日は特に子どもを任せっぱなしになってしまうのですが、いつも家事・育児を頑張ってくれてありがとう。コロナが収束したらみんなで淡路島に泊りがけで遊びに行こうね。これからも家計をどうかよろしく願います。

ささき きよのぶ
勇伸運輸 **佐々木 清信** さん

妻へ

5年間、一緒に寄り添ってくれてありがとう。家に帰った瞬間の「おかえり」と「ただいま」を当たり前のように言い合えることに幸せを感じています。



早朝の6時前に家を出るときも見送りをしてくれて、21時頃に帰る日があってもご飯を作って待ってくれることに、感謝の思いでいっぱいです。コロナが終わったら一緒に旅行に行きたいね。これからもよろしく願います。

たかだ ともりの
RinoHotelマネジメント **高田 知典** さん

父へ

元々4人家族でしたが、母と兄を亡くしたことで2人きりになりましたね。今となっては唯一の家族ですが、実家が近いのになかなか実家に帰れずごめんさい。



母を亡くしてから連絡取り合うようになりましたが、一人で寂しい思いをさせてしまったと思います。コロナに頭を抱える日々ですが、どうか元気でいてください。落ち着いたら時間をとって親孝行したいと思ってるので、もう少し待っていてください。

Topics

新車を導入しました！



2020年5月 70CR (型番: SCX700-3C5)

ホテルオープンします！



2020年6月17日に Welina Hotel Premier 中之島 Eastが グランドオープンします。

★5月に9名の新入社員が入社しました！★



RinoHotelマネジメント **ジヨナサン** さん



RinoHotelマネジメント **ゲン カム** クエンさん



RinoHotelマネジメント **段 健偉** さん
ダン ケンイ



RinoHotelマネジメント **ジェシカ ナタシャ** ヤップさん



RinoHotelマネジメント **服部 震** さん
ハツトリ ケン



RinoHotelマネジメント **ゲン テイン** ハイさん



RinoHotelマネジメント **劉 清政** さん
リュウ セイセイ



RinoHotelマネジメント **王 澤明** さん
オウ タクメイ



高田クレーン興業 **森永 邦寿** さん
もりなが くにとし